

山 遊 会

沿 革

幕別町の山遊会のあゆみは、昭和47年以前は各職場グループ単位で登山の会が行なわれていたものが、昭和46年の雌阿寒岳の山納において、宮内伸夫（当時浦幌駅勤務）、泉敏夫（幕小）、南条信一・飛鳥正幸（新田ベニヤ）らが初めて顔を合わせ、夜通し山について語り合ったのが、きっかけになった。なお、泉敏夫は、ヒマラヤ登山の経験者である事を特筆します。翌年、宮内伸夫が、幕別駅に転勤して来たおり、他のメンバーと連絡をとり、幕別町に山岳会なるものを設立しようではないかと話しが煮詰った。その後、5月18日町民会館において、発起人 宮内伸夫、高橋秀昂（駅）、沢田治夫（役場）、池上慶子（農協）、泉敏夫（幕小）、小串雪枝（信組）、南条信一（新田ベニヤ）が集まり、同月29日第1回総会を開く事を決定した。会員を募り、総会において会の名称は、「幕別町山遊会」と決定、規約の作成及び、会役員を選出し、幕別町山遊会が発足したのであります。

昭和47年度 第1回総会 会員数 42名 会長 宮内伸夫、副会長 南条信一、幹事 太田和洋（新田ベニヤ）、高橋秀昂、古川千恵子（農協）、下道弘（郵便局）、林百合子（役場）。

6月10～11日 山遊会発足記念行事として、雌阿寒岳（1,503m）山開きに参加、参加人員21名。7月22～23日 芦別岳（1,727m）登山、参加人員34名。8月26～27日 ニベソツ（2,013m）登山 参加人員7名。

昭和48年度 5月6日 第2回総会 会員数30名 役員は全員留任。5月27日 残雪の芽室岳（1,750m）登山 参加人員12名。7月

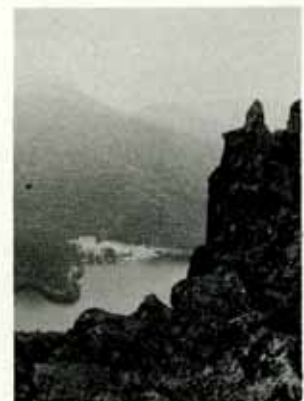
15日 第1回町民ハイキングの集い 山遊会では初めての全町民を対象とした行事である。体育連盟、教育委員会と共催、然別の白雲山（1,060m）に登山 参加人員93名。7月19～22日 利尻富士（1,719m）登山 参加人員8名。8月25～26日 ウベペサンケ（1,870m）登山 参加人員10名。

昭和49年度 6月3日 第3回総会 会員数28名 会長 宮内伸夫、副会長 南条信一、会計 高橋秀昂、幹事 太田和洋、林百合子、寺岡徹男（農共済）。7月14日 第2回町民ハイキングの集い、雌阿寒岳登山、オンネトー青年の家登山口より登山。10月5～7日 羅臼岳（1,661m）登山 参加人員4名。

昭和50年度 6月26日 第4回総会 会員数28名 会長 宮内伸夫、副会長 南条信一、会計 石川泰範（駅）、幹事 高橋秀昂、



鋭く尖ったニベソツ山頂



白雲山頂上より

曾我龍子(新田ベニヤ)、林百合子、寺岡徹男、池上慶子。7月13日 第3回町民ハイキングの集い 然別の白雲山登山 参加人員 187名。7月27日 帯広岳(1,089m)登山 参加人員 10名。8月23~24日 ニベソツ登山 参加人員 7名。9月6~7日 高原温泉キャンプ 参加人員 17名 大雨のため予定を変更して沼巡りは中止。



高根ヶ原より旭岳、白雲岳を望む

昭和51年度 5月10日 第5回総会 会員数 26名 役員は留任。7月18日 第4回町民ハイキングの集い 雌阿寒岳登山 野中温泉登山口より登山。8月7~10日 大雪縦走 参加人員 6名。9月18~19日 高原温泉キャンプ 参加人員 15名 山々は紅葉の真っ盛り。昨年出来なかった沼巡りを行なう。



紅葉の高原温泉

昭和52年度 4月13日 第6回総会 会員数 22名 役員は留任。7月10~12日 大雪縦走 参加人員 5名。7月17日 第5回町民ハイキングの集い 雌阿寒岳登山 野中温泉登山口より登山。9月17~18日 高原温泉キャンプ 参加人員 7名 沼巡り途中で親子熊3頭と出会う。

昭和53年度 4月26日 第7回総会 会員数 17名 会長 宮内伸夫、副会長 森野幸作(農共済)、会計 高橋秀昂、幹事 笹島よしみ(農共済)、佐藤展子(役場)、橋本猛夫(新田ベニヤ)。6月30日~7月3日 利尻富士登山、参加人員 5名。7月16日 第6回町民ハイキングの集い、雌阿寒岳登山。9月16~18日 斜里岳(1,545m)登山 参加人員 3名。

現 況

昭和54年度 5月21日 第8回総会 会員数 22名 会長 宮内伸夫、副会長 中川泰徳(農共済)、会計 笹島よしみ、幹事 佐藤展子、橋本猛夫。



会長 宮内伸夫



副会長 中川泰徳



会計 笹島よしみ



幹事 佐藤展子



幹事 橋本猛夫

体育連盟 理事 宮内伸夫、代議員 斉藤八郎(農共済)、中川泰徳、橋本猛夫を選出。 6月10

日 山遊会独自で初めての町民登山の会を行なった。然別の白雲山の予定であったが、前日までの雨のため足場が悪く登山は危険と判断し、東雲湖までのハイキングコースに変更した。バス2台、参加



ハイキング途中



待望の昼食の時



東雲湖



記念撮影

人員 48名。 7月7~10日 大雪縦走 参加人員 8名 高原温泉→緑岳→白雲岳→お鉢平→白雲石室→高根ヶ原→忠別岳→高原温泉



雪渓を登る



緑岳頂上



旭岳を望む



お鉢平



高根ヶ原



お花畑(チングルマ)



(エゾツガザクラ)

7月22日 第7回町民ハイキングの集い 雌阿寒登山及びオンネトー湖周のハイキング、参加人員約250名 野中温泉登山口より登山開始、正午過ぎ全員頂上に立つ。



4合目付近



雌阿寒岳頂上にて記念撮影



下山 足元に注意!

8月12日 ウベペサンケ登山 参加人員 5名。 8月24~25日 大雪縦走 参加人員 2名



ウベペ中腹より

高原温泉→緑岳→白雲石室→高根ヶ原→平ヶ岳→忠別岳→忠別小屋→忠別岳→平ヶ岳→高根ヶ原→空沼→高原温泉。忠別岳では熊を見る。



白雲岳石室より忠別、トムラウシを望む

展 望

山遊会の発足以来7回を数える町民ハイキングの集いは、これからも行なっていく。山の選定は

1. 日帰りが出来る事。
2. 登山コースが初心者向きである事。
3. ハイキングコースが山の近くにある事。
4. 頂上が大勢の人を収容出来る事。
5. その他。

となっており、十勝では、この条件を十分満たす山は数えるほどしかありませんが、出来るだけ、異なる山へ行ける様、調査したい。今年初めて山遊会主催の登山の会を行ないましたが、町民ハイキングの行先が少ない事を補充しまた、町民ハイキングではものたりない人達のため、本格的な登山を、来年からも行なう。ただし、人数はかなり制限しなければならないでしょう。山遊会ではシーズン中(5月~10月)は毎月2回の登山の計画を立て、各人の都合また山の天気によって、中止せざるを得ない場合もあるが出来るだけ、多くの山へ行きたい。

《山へ行く人のこころえ》

1. 自分の体力と余暇に応じた山やコースを選ぶこと。
2. 細心の準備と確実な計画をたてる。
3. 単独行動を避け、グループ登山は規律を守る。
4. 天候の無視は遭難のもとになる
5. 出発は早朝、到着は日没の3時間前までとする。
6. 身体の異状に対して早期に適切な処置をする。
7. コース以外のところを歩かないこと。
8. 無理無謀はつつしむ。
9. 登山者名簿の記載は正確に書く。
10. 山のエチケットを守ること。



登山は、他のスポーツと異なり、勝敗、順位などはありませんが、自分自身が、敵であり競争相手であり、登山の記録は体力の証明になります。また、汗をかいて頂上に立った時の壮快さと周囲の景色の良さは、山へ登った人だけの特権であります。それ故、山登りを通じて体力、精神を鍛えるとともに、山の楽しさ、美しさを、町民の多くの人達に経験してもらいたい。